

インターンシップ説明会開催

視野を広げ、働き方を考えよう

卒業後の人生を考えるきっかけのひとつにインターンシップがある。期間限定社会人として現場で就業体験し、社会人と接することで「自分の興味や関心を知る」「働き方を考える」「視野を広げる」機会になる。本学は、企業・団体と連携する大学提携型インターンシップを夏期と春期に実施している。活躍の場は企業や行政機関、NPO、全

国の道の駅や農業法人、さらには海外での体験もある。夏期大学提携型インターンシップの説明会を、生田キャンパス5月14日(金)、神田キャンパス5月17日(月)の昼休みに実施予定。詳しくは学生用新システム「in Campus」で確認を。昨年度の夏期大学提携型インターンシップに参加した学生の体験記を掲載する。

オックスフォード大学生との交流セッション



新しい留学のカタチ

英国オックスフォードにオンライン留学

イギリス・オックスフォードと結ぶオンライン留学プログラムが3月1日から12日まで実施された。学生17人がライブレッスンで歴史・文化、ビジネスやSDGsなどを英語で学び意見発表したほか、歴史的建造物を時代の背景などの説明を受けながら巡るバーチャルツアー、オックスフォード大学生との「オンライン交流セッション」で「生きた英語」に触れた。本学では新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、2020年度の留学プログラムがほぼ中止となった。今後もしばらくは「初めての留学がオンラインであることに不安と物足りなさを感じてい

たが、楽しく有意義な時間になった。英語を話す機会が大幅に増え、留学後は英単語を声に出しながら次に話す語を自然と考えることが以前よりできるようになった」と充実の2週間を振り返った。

海外渡航が難しい状況が見込まれる中、学生たちには外国語や異文化を学ぶ機会を提供したいと、オンライン留学を初めて企画した。オックスフォード大学生との交流セッションでは日英の文化や大学生生活について英語で自由に話し合った。山崎利咲さん(経済2)は「会話のスピードが速く、理解できなかったところもあったが、つたない英語でもコミュニケーションをとることができた。伝えたいという思いが大事」と語った。池田舞香さん(文3)は「初めての留学がオンラインで11回目。今回は地域

地域とともに

学生が清掃活動

Clean Town in KANDA



そろいのピプスでゴミを拾う学生

地域清掃活動「Clean Town in KANDA」が3月19日、神田キャンパス周辺で行われた。毎年行っているクリーンタウンは今年で11回目。今回は地域の方々の参加は見送られたが、学生39人が活動した。感染症対策をしっかりと行い、おそろいのピプス、手袋、マスクをつけて、神田キャンパス周辺から最寄り駅にかけてゴミ拾いを行った。前回は参加したという法学部3年次の学生は、「コロナ禍ということもあってか、マスクがいくつも捨てられていた」と話していた。

当日は、計修会前室長の佐々木重人学長や、ご指導をいただいたエクステンションセンターの「会計士講座」の先生2人も駆けつけ、お祝いの言葉を贈った。祝賀会の最後に合格者3人が「社会に出たらこれまで教えていただいたさまざまなことを生かして活躍したい」などと、決意と抱負を述べた。(商学部准教授、計修会室長・松本徹)

難関突破を祝う

計修会 公認会計士試験合格祝賀会

計修会(専修大学公認会計士試験研究室)主催の公認会計士試験合格祝賀会が4月3日、神田キャンパスで開催された。万全のコロナ対策の中で約20人が参加した。本年度は計修会から、藤本里菜さん(合2商)、依田翔さん(合3経済)、鬼澤理央さん(合3商)の計3人が合格した。

3月26日、専修大学から青木高夫氏(フアナック株式会社顧問)に写真(経済学)の学位が授与された。学位請求論文名は「株主指向」か「公益指向」か。日本型コーポレートガバナンスを求めた。

就職だより

「4年次生へ」昨年来の新型コロナウイルス感染症拡大は、就活生にも多大な影響を及ぼしています。例えば、オンラインでのインターンシップ、会社説明会、採用試験などは、約2年前と比較すると日常的に行われるようになりました。また、業種・業界によって、新卒大学生の採用見込み数を大幅に減らす企業も見受けられます。

このような状況下、就職活動中の皆さんにとって、企業が発信する各種の情報を、正確かつ迅速に入手することが重要です。また、自己分析や企業研究・業界研究など、今できることを丁寧に行ってみてください。(3年次生へ)新たな年度、まずは5月10日(月)〜12日(水)にオンラインで実施される「インターンシップ・就職ガイダンス」に参加してみましょ。就職活動に関する現状(就職環境、スケジュール、イン

専修人の新しい本

値段がわかれば社会がわかる

はじめての経済学

徳田賢一著

192 値段がわかれば社会がわかる 徳田賢一 978400901112

経済学は面白い。本書は、私たちの身近な生活の疑問を興味深く、分かりやすく解き明かしてくれる。

私たちの身近にあるお店の値札の「値段(価格)」はどうつけられるのか。高校時代の公民では、抽象的に「価格は、需要と供給が一致するところで決まる」と学んでいるが、値段とは、生産から消費まで、多くの

人々の経済活動を通じて初めて決まってくるもの。現実には、生産者が商品を市場に出荷し、市場で競りなどを通じて市場価格が決まり、さらに小売店で販売する値段を決め、最後に私たち消費者がその値段を評価して買うかどうかを決める。その長い価格決定のプロセスを、ビジネスに関わる基礎的な知識で解き明かしていく。

今後の経済学、マーケティング、経営学、ビジネスといった専門知識への良き導入役になってくれるだろう。(筑摩書房・税込902円)

著者(とくだ・けんじ) 名誉教授。流通経済論、地域経済論。

体験記

松本 伶朗さん(経済2)

私は昨年の夏、約2週間のインターンに参加しました。インターン先は都内に本社がある企業です。私は将来、IT企業に勤めたいと考えており、実情を少しでも知るためにインターンに参加することを決意しました。そして、新型コロナウイルス感染症の影響によって奪われた大学1年次の大切な時間を、何か行動することで取り戻したいという気持ちもあり

インターンに参加することを決意しました。そして、新型コロナウイルス感染症の影響によって奪われた大学1年次の大切な時間を、何か行動することで取り戻したいという気持ちもあり

ターニングポイント。ミーティングを重ねて、納品するまでの流れを実際に体験しました。未経験のウェブページ作成や提出書類のチェック、メンバーとの意思疎通が大変苦労しました。ですが何度も会話を重ね、協力して作業を行うことで無事に納品することができました。何よりも実感したのはコミュニケーションの大切さでした。

意思疎通の大切さ実感



インターン先で作業する松本さん

今回のインターンで最も苦労したことは、ウェブページ作成でした。これは実際に会社のインターン紹介ページを作り上げるといえるのです。一緒に作業したのは初対面のイン

まは、この言葉に深く考えさせられました。今までは周りの大人からは、ただひたすら勉強をしろと言われては通じませんが、社会ではそれだけでは通じないのだと気づいたので、これからは学生スタッフやサークル活動をはじめ未体験のことにも積極的に取り組み、さまざまな経験を積んだ社会人を目指して精進していきます。

校友会情報

就任

清水洋文氏(しみず・ひろふみ)昭61法)東京消防庁第28代消防総監に4月1日付で就任。

アドニス95号刊行

4月15日刊行の校友会誌「アドニス」95号の巻頭特集は「校友会って何ですか?」と題し、全国



ターニングポイント、企業の採用活動等)を紹介するとともに、皆さんに今後取り組んでもらいたいことをお伝えします。就職への不安を解消し、前向きな行動につなげていきましょう。

に広がる校友会支部の活動や本部の事業について紹介している。「われら専修人」では、在シカゴ日本国総領事館・広報文化センターの松本久代さん(平17文)に、国際人として生きる道を語ってもらった。

また、セガサミーホールディングス株式会社所属のフエンシング・女子フルール選手である菊池小巻さん(平31商)が登場。大きな目標に向かって世界を舞台に邁進する姿を取材した。